社会福祉法人 宝安寺社会事業部

福祉ほうあん

VOL. 124
Renewal!

[特集]
笑顔

houanji 広報誌 public relations magazine

特集 笑顔

思わずこぼれたり、
何をやっても出てこなかったり、
なかなかつかみどころのないもの。笑顔。
それでも探してしまうのは、
なぜだろう？

見るだけで、
心が軽くなったり、
感動したり、
考えさせられたり、
笑顔の裏には
とても大きな世界が
広がっているのかもしれない。

宝安寺社会事業部は、
日常の中でいろいろな笑顔に出会える場所。
それぞれが出会った笑顔の世界、
私たち職員がご紹介します。

Contents

小田原愛児園 …… 04
小田原乳児園 …… 06
ほうあんふじ …… 08
ほうあんうみ …… 10
ほうあんなぎさ …… 12
コラム きらり通信 …… 14
ほうあんのぞみ …… 16
ほうあん第一しおん …… 18
ほうあん第二しおん …… 20
ほうあんふじみのさと …… 22
ほうあんホッと相談カフェ …… 24
おわりに …… 26

社会福祉法人 宝安寺社会事業部

時は1900年。当時の和尚夫婦が地域の子どもや若者に教育の場を提供したことから、宝安寺の社会福祉事業がはじまりました。大震災や世界大戦を乗り越え、その時々で地域に必要とされていることは何かを考え、少しでも力になれるように…。現在は、浜町・曽我大沢・根府川で、子どもたちや障害のある方々の人生に寄り添う、様々なお手伝いをさせていただいています。

こぼさないように少しずつ、少しずつ…

夢中になれること。その先にあるもの。

子どもだけの世界にある笑顔

何かに夢中になっている子どもたちの表情はとてもキラキラしています。夢中になれることを見つけた時、挑戦している時…誰かに何かを与えられるより何倍もワクワクする瞬間なのだと思います。

誰しもが遊びの天才

園庭では、好きなことにじっくり集中して遊んでいる真剣な表情があります。遊びに没頭する時間の中に、思いもよらない発見や喜びがあるのだと、子どもの遊ぶ姿に見入ってしまう職員たち。どんなことを発見し、遊びが広がっていくのかと、とてもワクワクします。友だちと共に遊び、感じる面白さから自然と笑顔に。成長の中で人と関わることの喜びや楽しさを感じていけるようにしていきたいです。

いつもと違うカレーの味に大喜び!

子どもたちが力を合わせて作る、カレーパーティー。真剣に包丁を握る姿から、カレーの完成まで、子どもたちの表情はさまざまに移り変わっていきます。野菜を切ったり、大きな鍋の中の様子を見守ったり、自分でカレーをよそったりするすべての過程が、最後にカレーを頬張る幸せそうなとびっきりの笑顔に繋がっていました。

早く「いただきます」したいな。
どんな味かな。

いつもは笑顔だけど、
真剣な表情もいいね!

その眼差しに写るもの

子どもの遊びの中だけで広がっていくこと、深まっていくことがあるのだと、日々感じています。大人が関わるべき時と見守るべき時を見極め、子どもたちの持っている力が最大限に発揮されるよう支えていくことが、私たち保育士の大切な使命だと思います。

初めて感じた喜び、達成した感動、発見した驚き…繰り返す日々の中にその数々があることを子どもたちはいつも教えてくれます。そうしたその瞬間の笑顔が何よりも輝いて尊いものであることをこれからも感じながら子どもたちとの日々を大切に過ごしていきたいと思います。

\ この記事は /
私が担当しました!

名前:中山里奈(保育士)
趣味:ヨガ
最近はまっていること
:キッズヨガ
好きなこと:空を見ること
好きな食べ物:愛児園の
給食で出るハヤシライス

小田原愛児園

保育園(2歳児~就学前)
子育てオアシス
病後児保育室ほうあんりすのもり

〒250-0004
小田原市浜町1-3-8
TEL :0465-22-3523
FAX :0465-22-3524

ほほえみのひきだし

毎日の生活の中で生まれる たくさんのほほえみ

子どもたちは先生と一緒に遊んだり、色々な時間を共有してもらうことで、喜びや楽しみを感じ取っていきます。また困った時には、先生が優しく受け止めることで、一瞬にして“パッ”と明るく安心した表情になります。さあ、どんなほほえみがあるのかな？ひきだしをあけてみましょう!!

毎日、さまざまな表情を見せてくれる子どもたち。小田原乳児園では、子どもたち一人一人の気持ちに寄り添いながら、豊かに気持ちを表現し、ほほえみのひきだしをたくさん持てるよう、私たちは*和顔愛語の心で日々の保育を行っています。

和顔愛語（わげんあいご）…穏やかな笑顔と思いやりのある言葉で接することを意味する仏教のことば。

「くすぐっちゃうぞー」期待から笑顔がこぼれちゃう…

少しお兄さんになった気分。でもちょっぴりはずかしいな。

少し不安な気持ちもあーっという間に“ほっと”安心。

“ジャンプ、ジャーンプ”楽しいね！おもしろいね！

「できたー」 先生の笑顔になんだか僕も嬉しくなっちゃう。

小田原乳児園

保育園（0～1歳児）
一時預かり保育　地域育児センター

〒250-0004
小田原市浜町1-2-15
TEL：0465-22-3523
FAX：0465-22-3524

＼この記事は／
私が担当しました！

名前：新倉悠（保育士）
趣味：音楽を聴くこと
好きなこと：旅行、ドライブ、ディズニー
最近はまっていること：海外ドラマや番組を見ること
好きな食べ物：スイカ、いくら、スイーツ

わたし？

てんとう虫さん、ありがとう

子どもたちが見つけた、とびきり面白い日常

ある日、外遊びをしているとてんとう虫を見つけた。先生が遠くにいる子を「Aちゃーん！」と呼ぶと、急いで先生のところに走って来たAちゃん。もう一度「Aちゃん、てんとう虫だよ！」と言うと、なにやら不思議そうな顔をしている。

「どうしたの？」と尋ねるとAちゃんは、こう言った。

「先生！すごいことが分かったんだよ！！さっき離れたところにいたときは、先生の声が小さく聞こえたけど、近くで聞くと、すごく大きく聞こえるよ！」

そう言ってAちゃんはとびきりの笑顔を見せてくれた。

ここだよー！

てんとう虫
みーつけた！

たのしい♪

なにして
遊ぼう？

イエーイ☆

シャボン玉
飛んだー♪

わぁ、おもしろい！みつけたよ！

大好きなてんとう虫よりも、新しい発見をしたことに喜ぶAちゃん。その笑顔に、先生も自然と笑顔がこぼれる。

人の声は、遠くにいたら小さく聞こえて、近くにいたら大きく聞こえる。そんなことは大人にとっては、あたりまえ過ぎて気にもしないようなことだけれども、子どもたちにとっては、新しい発見。

こんな風に色んな経験をしながら少しずつ成長しているのだなとあらためて実感した瞬間、この笑顔を見せてくれたてんとう虫に「ありがとう」を言いたくなった。

ほうあんふじ

児童発達支援センター（児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援）

〒250-0201
小田原市曽我大沢7
TEL：0465-41-4010
FAX：0465-41-2666

\ この記事は /
私が担当しました！

名前：太田香織（保育士）
趣味：旅行、アウトドア
特技：ピアノ、エレクトーン
好きな動物：うさぎ
好きな食べ物：たまご、キムチ、カレー
最近はまっていること：吉本のお笑いを見にいくこと

みんなちがって、
みんないい

「で・き・た！」

子どもたちの笑顔はどこから？

「どうして僕には、できないの？」
制作の時間、ある子が言いました。
やりたいのにうまくいかない。
ひとりでやると、うまくできない。
だから先生は言います。

大丈夫、出来るよ。と。

そうやって一緒に制作をして、完成した瞬間・・・
「できた！！！」と子どもの笑顔があふれました。

一人だと難しくてできないことも、
先生が一緒に、お友だちが一緒に、
そうやってみんなで支え合って、

いろんなことができるようになる。
いろんなことに自信をもつようになる。
いろんなことに意欲がでるようになる。

そのすべてが笑顔につながって、
子どもの「できた」の笑顔が、
大人を笑顔にしてくれます。

生活のなかで経験してきた
たくさんの「できた」の積み重ねが、
みんなを今日も笑顔にしているのかな。

子どもたちが自信をもてるように、
子どもたちの笑顔が見たいから、
支援スタッフは今日も、子どもたちへの
支援を考えながら療育をしています。

ほうあんうみ　児童発達支援センター

〒250-0012
小田原市本町2-4-12
TEL：0465-44-4597
FAX：0465-44-4598

＼この記事は／
私が担当しました！

名前：太田香織（保育士）
好きな食べ物：たまご
好きな動物：うさぎ

名前：吉森萌（保育士）
好きな食べ物：お菓子
（おせんべい・ちょこれーと・ぐみ）
好きな動物：ぞう

ほうあんなぎさ

プロフェッショナル 笑顔の流儀

あなたはお母さん（またはお父さん）何年生ですか？

お子さんの年齢イコール、お母さん歴。1歳のお子さんでしたらお母さん1年生、2歳のお子さんでしたら2年生、まだピッカピカですね。お子さんと一緒に成長していくのですもの、わからなかったり不安になって当たり前なんです。

そんな中、日常の生活や発達においてちょっと困ったことなど対応が他のお子さんより難しいお子さん。そんなお子さんたちとご家族の皆さんをちょっとお手伝いできるクリニック。それが、ほうあんなぎさです。不安なママやお子さんたちをあたたかくむかえます。

少しでも、楽しく、楽に、そして笑顔で過ごせる毎日になるように…

皆さんをあたたかく迎えるには、スタッフも笑顔でいないといけませんね。スタッフみんなが笑顔でいられるには、ちょっとした秘訣があるんです。

なぎさのスタッフは、毎日のちょっとした日常の会話でも微笑ましい笑いが絶えません。例えばこんな感じ。

大屋先生　「また昨日も寝つきが悪くて柿ピー食べちゃった。食べたら寝られるんだよねー」お布団の中で悶々としている時は夜おやつの柿ピーを愛用。でも寝る前だし、お腹周りも気になるし…と、ぼやいています。

最近早く帰宅できると近所をランニング。なぎさメンバーで駅伝出場を目論んでいる大屋先生です。

笑顔の大屋先生。お好みの柿の種は素焼きっぽいもの。

ところで、なぎさではスタッフから月額100円集金し、休憩用のお茶やお菓子を購入しています。

ある日の岩本先生　「これ、めっちゃ美味しいです！どこに売っているんですか？」キラキラの瞳。2、3日後「近所に売ってないんですよぉ」と下がり眉。

さらに何日か経ち「やっと見つけました☆」と何軒もスーパーを探したらしい。塩羊羹にはまる岩本先生でした。

岩本先生のお気に入り「かし原　塩羊羹」！

遠藤先生　「昨日、夜、甘いもの食べたいと妻と娘が近所にケーキを買いに行きまして、遅くにケーキ食べたんですよ」

ちなみに娘さんはコー〇ーコーナーでアルバイトをしており夜の洋菓子率は高め。「なのに…、私、この夏痩せてしまいました。妻や娘たちと同じ食事をとっているのに何でお父さんだけ！と言われました」と、なんとも羨ましい。長身スリムな遠藤先生です。

三崎さん　いつも少し控えめな微笑み、困惑しているような、照れているような、三崎さん。

そんな彼女のテンションを3倍に上げる話題は「肉！」。先日も法人職員のくじ引き会で、なんと三崎さんにステーキ屋さんのお食事券が当たった。「やったぁー！肉だぁ!!」とまれにみるハイテンション。食事会の話が出る度「焼き肉！」と即答するくらい肉Loveなのである。

こんなアットホームなメンバーが集まったほうあんなぎさ、もちろん皆プロフェッショナル。カンファレンスの時間にはスタッフ総出で今後の患者さんの支援の仕方について真剣に打ち合わせ検討しています。

＼この記事は／
私が担当しました！

名前：井崎智未（事務スタッフ）
来年社会人になる娘を持つ
お母さん21年生。
好きな飲み物：アルコール全般

最近の目標
：目指せ11号!!
好きな食べ物：ハンバーグ、シュウマイ

写真：s.hirasaki

こども発達クリニック
ほうあんなぎさ

児童精神科
リハビリテーション科

〒250-0012
小田原市本町2-4-12
TEL：0465-44-4526

きらり通信

きらりんな日々

宝安寺社会事業部の仲間の
作品や活動を紹介するページです！

vol.1 柴崎佳恵さん ほうあん第一しおん

「きゅうりのダンス」 EXILEのChoo Choo TRAINに合わせて踊っています。

制作中は住恵ワールドに入り、黙々と
描いています。

「ぶたとみじんこ」

世界に1つずつしかない
オリジナルトートバッグです。

柴崎さんにインタビュー

Q. いつごろから絵を描き始めましたか？
A. 小学校ぐらいかな…
Q. 絵を描くことは好きですか？描いていて嬉しかったことは？
A. 好き（笑顔で）。みんなから「可愛い～」「似てるね」と言われた時が嬉しい。
Q. 現在のマイブームは何ですか？
A. しおんの職員の似顔絵を描くこと
（本人をパッと数秒見ただけで特徴をつかんで描くことが出来ます）。

似てるでしょ？

スラスラと描いちゃうよ！

「職員さん」

柴崎佳恵（しばざき よしえ）
1985年、神奈川県小田原市生まれ。2004年よりほうあん第一しおんに通所。その独創的で愛らしく温かみのある作品や、トートバック・マスコットなどのグッズは、＜きらりフェスタ＞でも販売。その後「世界のみじんこ堂」として静岡市美術館でも作品が展示販売されました。

利用者さんが毎日作っています！

300円ランチ
おかず3品、大きな汁物、
おむすび2種がついてきます！

ミカさんに「できるようになりましたねー」と声をかけると「前からできたんだよ～」という返答だった。
こちらがやる機会を提供しなかっただけで実はできたのかもしれない。

ミカさんのお仕事

誰かのためなら、もっと笑顔に

ミカさんは昨年オープンした「むすび処 茶のまある」の店員であり、笑顔が印象的な人だ。いつもニコニコしているミカさんを見ていると毎日がとても楽しそうである。

“笑顔＝楽しい”ではない？

もともとミカさんには笑顔が多い。茶のまあるができる前は、その前身の小さな喫茶店で働いていたミカさん。内容は掃除が主であり来店客も限られていたため、その笑顔をお客様にむける機会は少なかった。そして、なぜか困った時に誰にむけるわけでもなく笑うことが度々あった。あの時、ミカさんはどんな気持ちで笑っていたのだろうか。

今「むすび処 茶のまある」で見るミカさんの笑顔は自信に充ち溢れたハツラツとした笑顔だ。最近は仕事内容を掌握し、テキパキと準備・片付けをするまでになった。

お仕事はきっと“誰か”のため

ここまでに至るには、長い道のりがあった…わけではない。もちろん苦手なこともあったが、それは主に物理的な工夫で解決した（雑巾をモップにするとか、ハンガーを扱いやすい物に変えるとか、平仮名表記の横に写真を貼るとか）。これらの改善に加えて少し練習を重ねることで、ミカさんは周囲が想像していたよりもずっと早く仕事をものにしてしまった。そして、その原動力は日々お客さんと接することにあったように思える。自分の携わっている仕事が誰のためにあるものかが、接客をするようになってはっきりとわかったのである。

「むすび処 茶のまある」に来ると、今日もミカさんが笑顔でおもてなしをしてくれる。いきいきと楽しそうに働いているミカさんから笑顔をむけられたお客さんもまた笑顔であることが、とても嬉しい。

「むすび処 茶のまある」は、ほうあんのぞみの職員と利用者で運営するカフェ＆地域の交流スペースです。
場所：ほうあん地域支援センターまある1階

ほうあんのぞみ

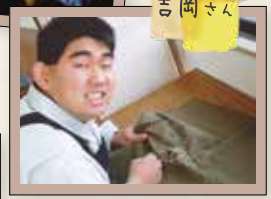
就労継続支援B型　共同生活援助
就労移行支援　就労定着支援

〒250-0004
小田原市浜町1-2-15
TEL：0465-22-8837
FAX：0465-22-8089

\ この記事は /
私が担当しました！

名前：藤井映子（支援員）
趣味：昭和歌謡
会話の節々にも昭和が漂います。

特技：イラスト・切り絵
茶のまあるの看板に
毎日ちょこっとイラストを
添えています。



1990年代

1990年代から2018年。
30年の歴史の中でも
利用者さんの変わらぬ笑顔に
支えられるのはいつも私たち。

アルバムの中、変わらないもの

利用者さんの笑顔には歴史がある

ほうあん第一しおんは1988年ちょうど、30年前に開設されている。第一しおんの30年の歴史の中でたった2年前に入社した私は、それだけでも多くの利用者さんと接してきたが、その中には私が生まれる前どころか、開設初期からここで働いている利用者さんもいる。

休憩室の記録達

しおんの休憩室に山積みになっているアルバム、そこに書いてある日付の多くは平成一桁からそれ以前のものばかりである。そのアルバムを開く度私はいつも驚かされる。そのアルバムの中は20年以上も前の物にも関わらず、今と変わらぬ笑顔をカメラに向ける利用者さんたちの姿が映っているのだから。

さて、30年という決して短くない月日、

2018年

そこには当然楽しかったこと、嫌なこと、さまざまな出来事があったであろう。その中で「笑顔」というその人本来のステータスが減衰することなく保たれているという事は実に素晴らしいことであると思う。

全力で生き、全力で笑う

では利用者さんたちの笑顔の源は何か、「家族」「友達」「趣味」いろいろと思いつくキーワードはあるが、それらはどれも笑顔の材料に過ぎない。

利用者さんたちのすごいところはその材料を笑顔に変換する力にあると思う。それぞれがそれぞれの課題に向き合い日々奮闘する利用者さんたちは、何事にも手を抜かずに全力で挑み、達成したときの達成感は倍以上にもなる。そんな日々を全力で生きている利用者さんたちが楽しい時や嬉しい時も手を抜くはずがない。当然全力の笑顔を向けてくれるはずである。

私たち支援員は利用者さんの笑顔を生み出すのも仕事のうちの一つとして求められることではあるが、実際は我々が利用者さんから笑顔をもらう事の方が圧倒的に多いのである。

ほうあん第一しおん

就労継続支援B型
就労移行支援　生活介護

〒250-0024
小田原市根府川389
TEL：0465-29-0146
FAX：0465-29-0705

\ この記事は /
私が担当しました！

名前：松倉昂輝（支援員）
趣味：映画鑑賞
特技：工作・映像・画像・音声の簡単な編集
好きな食べ物：いくら・焼肉・モンスターエナジー・ねるねるねるね
やりたい事：吹奏楽部でトロンボーンを吹いていたのでまた復帰したいです。

魔法の昼休み

笑顔を探して

上：はいチーズ☆お気に入りのギター（支援員作）は手放せません。カメラを向けるといつも素敵な笑顔を見せてくれます。中上：ズッコケた支援員を見て大爆笑！！とても良い笑顔です！！

私は、重症心身障害を含む重度障害の方々が所属しているグループで支援を行っています。
利用者さんたちは、意思疎通が難しく、関わっている際にしっかりとした反応が返ってくることは多くありません。

創作活動の中で支援員が一緒に手を添えて、色塗りを行うとニコッと笑ってくれる方がいます。ですが、活動が終わり「楽しかったですか？」と尋ねても返事を返してくれる訳ではありません。そのため、心からの『笑顔』なのかということはなかなか判断が難しいのが現実です。その時その時の瞬間が全てであり、表情やちょっとした仕草を感じとり、丁寧に職員間で共有していくことが求められています。

どうしたら『笑顔』を引き出すことが出来るのか、一人ひとりが楽しんで取り組める日中活動は何があるのか、どうしたら『笑顔』で充実した毎日を送ることが出来るのかということを日々模索しながら支援を行っています。

そんな、ほうあん第二しおんの方々が、お腹を抱えて大爆笑している瞬間を紹介したいと思います。それは、昼休み。各々は好きな場所で好きな人と過ごし、支援員も一緒に楽しむことで笑顔の輪が広がっていきます。たくさんの『笑顔』で溢れている楽しい昼休みの様子をお見せしたいと思います。

＼この記事は／
私が担当しました！

名前：梨本朋恵（支援員）
趣味：K-POP漁り
特技：韓国語・ダンス

最近はまっていること：
K-POPグループの
SEVENTEEN

ほうあん第二しおん

共同生活援助
短期入所　生活介護

〒250-0024
小田原市根府川383
TEL：0465-28-2250
FAX：0465-28-2251

Smile Share

支援員の笑顔の秘密

居てくれてありがとうの思いを胸に

笑った顔が好きです。皆さんの心の笑みが映るその表情に、日々地道に作り上げてきた関係性が小さく一歩前進したように思えます。

支援する者に、足りないものがないこと。そのことを大切にしています。人の心とは複雑で、日常がまとわりつくような日々も、心身の不調の時も、わたしは支援者として働きます。そして、利用者さんには支援者として受け入れられます。それは毎日同じことの繰り返し、何一つ変わることはありません。ですが、もしも、足りないものがあるときは、皆さんに内緒で潤いをいただきます。心の中で、そっと、今日も居てくださってありがとうと。

そんな小さな想いが、相手の方の笑顔を生むことに繋がりますように。幸せの循環となりますように。今日も、働かせていただけることに感謝いたします。

自分が笑顔でいられることが、利用者さんの笑顔につながっていく

利用者の皆様が笑顔で過ごせるために必要な環境として、利用者の話に耳を傾けることが大切だと思います。そして、その時の要望に応えられる環境が必要だと思います。また人は、挨拶をすると自然と笑顔になると思われるので、挨拶は大事かと思います。行事を企画する時、全ての利用者が楽しく参加出来るか考える様に心がけています。

また、利用者の皆様に笑顔になって頂く為にまずは私自身が笑顔でいることも大切だと思います。

なので、メリハリをつけるため、プライベートには、仕事のことはなるべく忘れるように趣味を充実させるようにしています。趣味で良いことがあれば、そのことを利用者や同僚とも話せるので、結果として笑顔が増えているのではないでしょうか。

\ この記事は /
私が担当しました！

名前：柳川由香（支援員）
好きな時間：さとから朝焼けと夕焼けの見える時間
好きなお花：ピンク色のゆり
好きなゆるキャラ：そばっち（岩手県のゆるキャラ）
好きな食べ物：りんご

Smile Share スマイルシェア

\ この記事は /
私が担当しました！

名前：中村正洋（支援員）
趣味：昆虫や熱帯魚、メダカの飼育
好きな虫：ニジイロクワガタ
好きな食べ物：お寿司
最近観て感動した映画：ワンダー 君は太陽

イラスト：marina miyahara

ほうあんふじみのさと
施設入所支援
短期入所　生活介護

〒250-0201
小田原市曽我大沢7
TEL：0465-41-4020
FAX：0465-41-2777

相談支援と聞くと皆さんはどのようなことを想像しますか？一般的にはご相談者様の悩みを聞いて、お応えするといったイメージかと思います。たしかにお悩みや課題を聞き、そのことに対してお応えします。しかし、相談支援専門員が実際に担っている仕事は、≪多種多様な支援を駆使することによって≫　悩みや課題に応えることであり、できるかぎり思いに近いかたちで希望をかなえることであるといえます。

100人100通りのこたえを探して

相談支援専門員はご相談者様が円滑に福祉サービスを利用するために各種の連絡調整を行います。知的障がい・精神障がい・身体障がい・発達障がいなどの障がいが重複している場合や、在宅生活から入所施設への移行、通所から就職へ、入所施設から地域への移行、加齢や疾病などの変化があります。それぞれのケースの背景には色々な可能性が考えられるので「これだ！」という答えはありません。

それぞれ多様な経験と知識を持った相談支援専門員。
互いの専門性が活かせるように、
相談支援専門員同士が出来るだけ
コミュニケーションをとりあうようにしています。
良い応えをだせるようにしていきます。

そのつど見直しと再計画を行い、ご相談者様がよりよく生活をするためにはどのように進めていったらいいのだろうと常に考え行動しています。

「笑顔の人生に寄り添いたい」

なかなかご希望通りにいかないこともありますが、ご相談者様・ご家族様から「〇〇ができるようになった！」「子どもが成長した！」「一生懸命働いてるよ！」「楽しいよ！」「嬉しいよ！」「ありがとう！」など、笑顔でお話をされる姿を見るとこちらも我がことのように嬉しく笑顔になります。これからもお一人お一人の「笑顔」を支え、その方の「人生」に寄り添い、共に笑顔で暮らしていけるような相談支援を実施していきたいと思います。

私たちがそばにいます！

地域のみなさまの笑顔を支える相談支援室

笑顔が
絶えない
職場です。

ご相談は
どの様な
ことでしょうか？
真摯に聞かせて
いただきます。

このメンバーで
相談支援を実施して
行きます。
宜しくお願い
いたします！

\ この記事は /
私が担当しました！

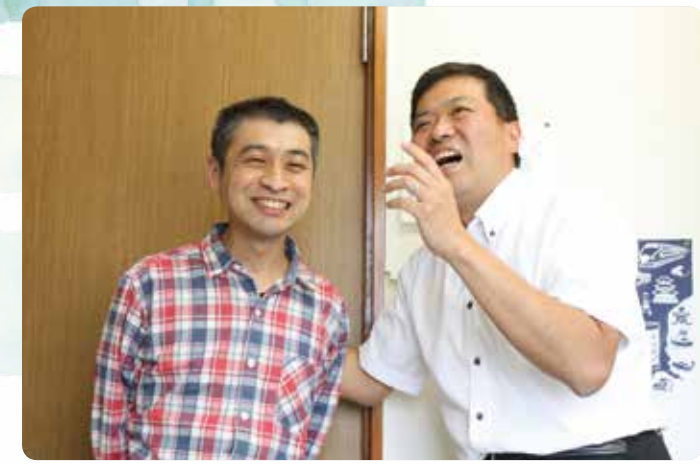
名前：大谷秀俊（相談支援専門員）
趣味：ラーメン屋巡り
特技：料理
好きなこと：海外ドラマを見る
最近はまっていること：お菓子作り・角煮作り
好きな食べ物：ラーメン・プリン

ほうあんホッと相談カフェ

指定障害児相談支援　指定特定相談支援
障がい者相談支援事業　指定一般相談支援

〒250-0012
小田原市本町2-4-12
TEL：0465-44-4381
FAX：0465-44-4382

おわりに



利用者さんとの会話に笑顔が生まれます。

人は幸せだから笑顔になるのか、笑顔だから幸せになるのか、どちらでしょうか。私は笑顔だから幸せになるのだと思っています。

私が宝安寺社会事業部で福祉の仕事に就いてから、ずっと利用者さんの笑顔に囲まれて働いてきました。少しやる気が出ないときも、利用者さんの笑顔を見ると不思議と力が湧いてきて乗り切ることができました。毎日、控えめな笑顔で「おはよう」と優しくあいさつしてくれたTさん。「よぉ！元気か？」と笑顔でガンガン話しかけてくれたOさん。私の冗談話に「何いってんだよぉー、もう」と笑顔でツッコミを入れてくれたSさん。「結婚したの？奥さん大事にしなよ」と笑顔で声をかけてくれたNさん。言葉は発しなくとも、笑顔でキャッチボールをしてくれたHさん。思えば私は利用者さんの笑顔にずっと支えられてきました。　そんな経験から、笑顔で明るく振舞えば私も誰かの支えになれるのではないかと思い、ニヤニヤニコニコと笑顔で明るく振舞うことを心がけるようになりました。そうしたら、自分の仕事がうまく回り始め、仕事が楽しくなりました。仕事を楽しいと感じることができて私は本当に幸せ者です。

この冊子で紹介されているとおり、宝安寺社会事業部のそれぞれの福祉施設には笑顔が溢れています。子どもたちの笑顔、利用者さんの笑顔、家族の笑顔、職員の笑顔。笑顔といっても心から100％の笑顔もあれば、心配事があって50％の笑顔もあります。愛想笑いもあるだろうし苦笑いもあります。でも、大切なことは笑顔であることです。目の前に壁が立ちはだかったときに、笑顔があれば乗り越えられる！なんてことは言いませんが、乗り越えるためには笑顔が必要だと思います。笑顔には免疫力アップ、寿命が延びる、脳の活性化、ストレス解消、好感度アップ、人間関係が円滑になる、プラス思考になれる等の効果があるといいます。笑顔でいることはいいことずくめなのです。だから私は笑っていたいし、人を笑わせたいです。

「笑う門には福来る」という、にこやかに笑っている人の家には自然に"幸福"がやって来る、という意味のことわざがあります。福祉という言葉には"幸福"という意味もあります。笑うことは豊かな福祉の実現につながると解釈できないでしょうか。笑顔と福祉は密接に関係している気がするのです。

ほうあんのぞみ 所長　上田 理

宝安寺の風景。

宝安寺社会事業部 後援会とは

「仏教の慈悲の精神にもとづく福祉の実践」を理念のもと、皆が暮らしやすい地域づくりをめざしている宝安寺社会事業部の活動を支援するために、この主旨に賛同していただける多くの方々が集い、結成されました。子どもたちと利用者さんの応援団として、いろいろな協力活動を行います。イベントやボランティア、福祉体験、公開研修会などに参加できます。

■会員になるには

入会申込書に記入し、会費の納入をお願いします。
後援会事務局（小田原愛児園園舎内）にて
担当者に直接手渡すか、郵便振替、銀行振込もできます。

■年会費

個人会員	1口 2,000円
法人・団体会員	1口 10,000円

■宝安寺社会事業部後援会事務局

Tel：0465-22-7667　Fax：0465-24-4411
E-mail：kouenkai@houan1900.jp

スタッフ募集

子どもたちや利用者さんの笑顔をつくりだそう！

■採用・求人に関するお問い合わせ

TEL：0465-22-3030（採用担当）
ウェブサイトで採用情報を随時更新中
http://houan1900.jp

houan1900　求人

宝安寺社会事業部で一緒に働いてみませんか。

切り絵イラスト：a.fujii

伝え方研究プロジェクトチーム

社会福祉法人 宝安寺社会事業部
〒250-0004 神奈川県小田原市浜町1-4-38
TEL：0465-22-7667（法人本部）
FAX：0465-24-4411　http://houan1900.jp

houan1990